

農福連携事業におけるサウンディング調査の実施と今後の事業展開について

1 主旨

令和3年2月9日に福祉保健常任委員会にて報告した、区内農地の活用による農地の保全や農業の担い手確保、障害者就労を目的とした農福連携事業について、事業候補地における民間活用の可能性や手法を把握するためサウンディング調査の実施とともに、今後の事業スケジュール案について報告する。

2 農福連携事業の位置づけ

担い手不足が問題となっている区内農地の新たな活用方法のひとつとして、営農と障害者就労のノウハウを持つ民間事業者との連携により、障害者等が働く場として活用し、工賃の向上や障害者等の多様な働く場を拡大していく。また、将来的にはユニバーサル就労の場とすることを目指す。

3 事業候補地

(1) 所在地：粕谷2丁目

(2) 面積：生産緑地	2, 575 m ²	(農福連携候補地)
宅地化農地	835 m ²	(区民農園候補地)
合計	3, 410 m ²	

※事業内容によって面積の変更あり。

(3) 使用貸借期間：令和3年4月1日～令和9年3月31日

4 サウンディング調査の実施

行政が事業を決定する前に、民間に広く呼びかけ、直接対話によって意見を聴く市場調査手法の1つで、以下のような効果が期待できるサウンディング調査を実施することにより、事業効果の高い手法をプロポーザルに向けて検討する。

(1) 民間企業等のアイデア把握

(2) 事業内容の決定前段階での民間企業等の知見の反映

(3) 公募前段階の早めのアナウンス効果による注目度向上

裏面あり

5 今後のスケジュール（予定）

- 令和3年6月 障害者施設等へのニーズ調査
サウンディング調査開始
- 8月 プロポーザル公募
- 10月 運営事業者の決定、農園の整備開始
事業説明会等の実施
障害者就労継続支援施設との調整、野菜栽培計画・販路の調整
- 11月～ 農福連携事業開始

【案内図】

